

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 吸引キット 13846000

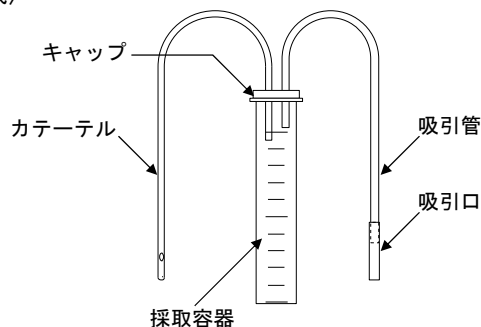
JMS 気管カテーテル

再使用禁止

【禁忌・禁止】
再使用禁止

**【形状・構造及び原理等】

カテーテル、吸引管、採取容器及びキャップからなる。
〈構成〉



**・本品には以下の原材料を使用している。

構成部品	原材料
カテーテル	ポリ塩化ビニル
吸引口	ポリ塩化ビニル

・本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））を使用している。

〈カテーテルサイズ〉

カテーテル 外径 (mm)	フレンチサイズ (F)	カテーテル 有効長 (mm)
2.67	8	300～600
3.33	10	
4.0	12	

〈仕様〉

項目	性能
引張強度	10N (8, 10F), 15N (12F)

【使用目的又は効果】

咽頭、喉頭、気管及び気管支内の異物、分泌物の吸引に用いられる。吸引物を本品の透明な採取容器に採取することができる。

*【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. カテーテルを口腔内、鼻腔内又は気道内に挿入します。
3. 吸引口を口でくわえて異物等を吸引します。
4. 吸引終了後、カテーテルをゆっくり抜去します。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 挿入時及び抜去時は次の事項に注意すること。
 - (1) 口腔、鼻腔等挿入する部位の粘膜の損傷に注意すること。
 - (2) 歯、鼻甲介及び鋭利なもの等でカテーテルを傷つけないように注意すること。[液漏れ、空気混入や破損が生じるおそれがある。]
- *2. 吸引は、吸引口より口で行うこと。[吸引口を吸引器に接続した場合、確実に接続できないおそれがある。]
3. 吸引物の誤吸引を防止するため、以下の事項に注意すること。
 - (1) カテーテルを強く引っ張らないこと。
 - (2) 採取容器を傾けないこと。

(3) 採取量は吸引管に達しない量とすること。

**4. カテーテルを鉗子等で傷つけないように注意すること。[鉗子の根本、又は先端で閉塞すると、カテーテルが破損し、液漏れや空気混入等が生じるおそれがある。]

5. キャップに対し、カテーテル及び吸引管を過度に押し引きしたり、折り曲げるような負荷を加えたりしないこと。[キャップ、カテーテル及び吸引管の外れ、破損、吸引物の漏れが生じるおそれがある。]

6. 一度採取容器から取り外したキャップを、再度採取容器に取り付けて吸引を行わないこと。[キャップと採取容器の気密性が保てなくなるおそれがある。]

**【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用するカテーテルは、患者に合わせて適正なサイズのものを選定すること。
2. ポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出するおそれがあるので、注意すること。
3. 採取容器に衝撃を与えないこと。[破損するおそれがある。]

**〈不具合・有害事象〉

**1. その他の不具合

空気混入、漏れ、破損、誤吸引

**2. その他の有害事象

口腔、鼻腔、咽頭、喉頭、気管又は気管支等の粘膜の損傷及び出血

【保管方法及び有効期間等】

〈保管の条件〉

水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

〈有効期間〉

3 年 [自己認証（当社データ）による]

包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

電話番号：082-243-5806